

第 66 回広島県吹奏楽コンクール 「中学生の部」開催方法について

広島県吹奏楽連盟

令和 6 年度秋季理事会におきまして、既に各部門を通じてお知らせしましたように、令和 7 年度広島県吹奏楽コンクール「中学生の部」の開催方法の変更、日程について下記のように決定しました。ご理解、ご協力よろしくお願いたします。

(中学生フェスティバル部門については開催方法の変更はありません。)

1 開催方法の変更理由について

- ① 昨今の気象状況から、警報発令時に大会を行うことは難しくなっています。
- ② 閉庁日より前に大会を終える必要があります。
- ③ 8 月 6 日、祝日の大会開催に対しての配慮が必要です。
- ④ 終了時間ができるだけ勤務時間を越えないように配慮が必要です。
- ⑤ 中国大会開催日を見据えて、定められた期日までに代表を選考する必要があります。

来年度の日程において、従来通りと同様の開催方法とした場合、中学小編成、中学 A において 4 日～5 日の日数が必要と考えられ、警報発令時などによる日程の変更は不可能であると判断しました。そのため、コロナ以前に議論し議決していた方法を他県の例も参考に調整し、来年度から中学小編成、中学 A において県大会をブロックに分け開催し、後日代表選考会を開催する方法に変更します。(高校小編成は 1 日で開催できている、高校 A は直後の予備日に変更可能であると判断し、今回は対象としないこととします。今後の参加校状況をみて判断していきたいと考えています。)

2 日程増加による変更点について

- ・大会日程を 1 日増やすことによる予算の増加について、中学生小編成、中学生 A について当面審査員を 5 名とし、審査員についての審査料、旅費費用を圧縮することで対応する。(中国地方や県内の方に依頼をすることがあります。)
- (事務局としては、審査員人数は 7 名としていきたい方針です。次年度以降については、来年度収支をもとに検討し、審査員人数について議論を重ねていきたいと考えています。)

- ・予備日開催に於いては、同一審査員で行うのは事実上困難であるため、審査員のメンバーが替わりますが、この方法で行う場合、代表選考に於いて理論上の公平性が保たれると考えられるため、他県も参考に今回のブロック制と代表選考会開催の方法を取り入れました。(広島県規模の参加数で2段階選抜を行っていないのは本県だけです)

3 詳細について

- ・中学生小編成、中学生 A について県大会を5ブロックに分け、各ブロックにおいて金賞、銀賞、銅賞を与える。(福山市、三原市、尾道市、府中市、世羅町及び神石高原町については福山開催とする。)
- ・各ブロック小編成は上位2団体、A部門は上位4団体を代表選考会の出演校とする。ただし、A部門福山ブロックにおいては上位2団体。
- ・審査員については旅費費用を圧縮するために中国地方や県内の方に依頼をすることがある。
- ・中学生小編成、中学生 A において、前年度代表校が同一日にならないように抽選会において配慮する。(シード校)
- ・審査は、シード校制度導入の他、これまでの相対評価に絶対評価(代表10～9、金賞10～8、銀賞7～6、銅5以下)を加味した審査方法にするなど、日程、会場、審査員の違いによる不平等さを少しでも回避できるよう、最大限の工夫をすることとします。

大会日程

7月30日(水)	中学生小編成① 中学生 A ①	広島文化学園HBG
7月31日(木)	中学生小編成② 中学生 A ②	広島文化学園HBG
8月1日(金)	中学生小編成③ 中学生 A ③	広島文化学園HBG
8月2日(土)	中学生小編成④ 中学生 A ④	広島文化学園HBG
8月3日(日)	高校F 中学生小編成⑤ 中学生 A ⑤	福山リーデンローズ
8月4日(月)	中学生フェスティバル	福山リーデンローズ
8月7日(木)	高等学校小編成	広島文化学園HBG
8月8日(金)	中学小編成・中学生 A 代表選考会 (前半予備日)	広島文化学園HBG
8月9日(土)	高等学校 A	広島文化学園HBG
8月10日(日)	高等学校 A 小学生 大学 職場一般	広島文化学園HBG
8月11日(月)	(後半予備日/代表選考会予備日)	広島文化学園HBG

- ・日程は現在の見込み予定であり、変更する場合があります。